

学びのイノベーション事業（文部科学省） 実証校
フューチャースクール推進事業（総務省） 実証校



京都市立桃陽総合支援学校 公開授業の御案内



師走の候、皆様方にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

当校は今年度より「学びのイノベーション事業（文部科学省）」、「フューチャースクール推進事業（総務省）」の指定を受けました。

12月より順次、ICT機器導入並びにアクセスポイントの設置等がなされ、ICT機器を活用した授業を展開し始めたところです。つきましては、下記の要項で公開授業を行います。ご多用のこととは存じますが、多数ご参加いただき、ご指導を賜りますようご案内申し上げます。

開催概要

<テーマ>

病弱教育における生きる力の育成
～ 学びを支えるストレスマネジメント～
[ICT機器の活用を通して、病弱教育の学びを支える]

- 1 日時**
平成24年2月17日（金） 13:15～17:00（受付13:00～）
- 2 会場**
京都市立桃陽総合支援学校
〒612-0833 京都市伏見区深草大亀谷岩山町48-1，TEL:075-641-2634，FAX:075-641-2648
- 3 主催**
京都市教育委員会・京都市立桃陽総合支援学校
- 4 内容（予定）**
 - ・公開授業5, 6校時（各教室）
 - ・全体会（体育館）
 - ・導入機器・ソフト体験コーナー（各教室）



学びのイノベーション事業(文部科学省) フューチャースクール推進事業(総務省)について



寒冷の候、皆様におかれましては益々御健勝のこととお喜び申し上げます。

京都市では、平成23年10月、京都市立桃陽総合支援学校を実証校として、文部科学省「学びのイノベーション事業」及び総務省「フューチャースクール推進事業」について受託いたしました。



【タブレットパソコン】

本事業では、児童生徒・教員一人1台の端末パソコンの配備をはじめ、無線LAN環境、TV会議システム及び電子黒板などICT機器の学習環境の有効性や、ICT機器を活用した指導、研修方法及びデジタル教材等開発等に係る効果・課題等について検証していくこととされています。21世紀にふさわしい学びと学校の創造を目指した取組を展開しています。

京都市立桃陽総合支援学校では、病弱教育特別支援学校児童生徒の生活体験の不足、学習活動における制限等多様な課題の解消等を図るため、本校と分教室、児童生徒と教員を結ぶICT環境を生かした協働的な学びの展開など、学ぶ意欲や学力の向上に繋がる指導・研修方法・デジタル教材開発等の実証研究について、平成25年度末まで実施していく予定をしています。

現在、ようやくICT機器導入作業が開始された状況ではありますが、全国の病弱教育特別支援学校で2校のみの実証研究校であることを真摯に受け止め、取組経過を御覧いただけるよう努めることが重要であると考え、公開授業を設定し、皆様に御案内することといたしました。



【教材提示装置】



【ワイヤレスペンタブレット】

つきましては、詳細の内容は、後日案内(詳細決定後、最終案内をHP上で公表)することとなりますが、京都市内をはじめ全国の教育関係者の皆様から御助言・御指導を賜り、今後の実証研究の充実に努めて参りたいと考えています。公務御多用のこととは存じますが、御参加いただきますようお願い申し上げます。